

不祥事防止への取組

取手市立六郷小学校

校長 横田 博江

近年、新聞やニュース等で聞かれる教職員による不祥事は、県民の学校教育への信頼を裏切るものであり、極めて憂慮すべきことです。そこで、本校では、不祥事根絶に向けたコンプライアンス（法令遵守）のため、教職員の意識改革や職場風土を改革すべく、下記のように取り組んでいます。

記

1 学校組織としての不祥事防止体制の確立

校内コンプライアンス委員会を設置し、「自校から絶対に不祥事を起こさせない、許さない」ための対策について話し合い、実効化に向けた取組を共通理解し、共通実践しています。教職員同士の連携を深め、組織的に仕事を進め、チームでサポートする体制を確立しています。教職員が「助け合い」「声かけ」しながら、全力で職務に専念する学校組織づくりに努めています。

2 不祥事根絶をテーマにした職員参加型の校内研修の実施

全職員参加によるコンプライアンス研修を月1回実施し、教職員の規範意識の醸成を図っています。不祥事根絶をテーマ（わいせつ、体罰、情報漏洩、学校会計の不適切処理、飲酒運転、交通事故等）に教職員が資料を作成し、グループ討議により具体的な防止策を互いに提案、全体で共有し実践化を図っています。また、テーマに応じたチェックシートやセルフチェックを使ってチェックし、不祥事の原因は何か、自分の行動や意識に問題はないか等を自ら確認しています。

3 管理職による教職員との日々の対話と風通しの良い職場づくり

管理職が先頭に立って、教職員がストレスを減らし、職務に専念できる環境づくりに努めています。管理職が、教職員との日々の対話や面談を通して、悩みや困り事への支援や助言を行っています。管理職も加わり一つのチームとなり、教職員同士が積極的にコミュニケーションを図ることで、他の教職員の言動に気になることがあれば黙認せず直接声かけしたり、気軽に相談したりできる風通しのよい職場環境づくりを進めています。

～六郷小学校では、今後も全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組んでまいります～